

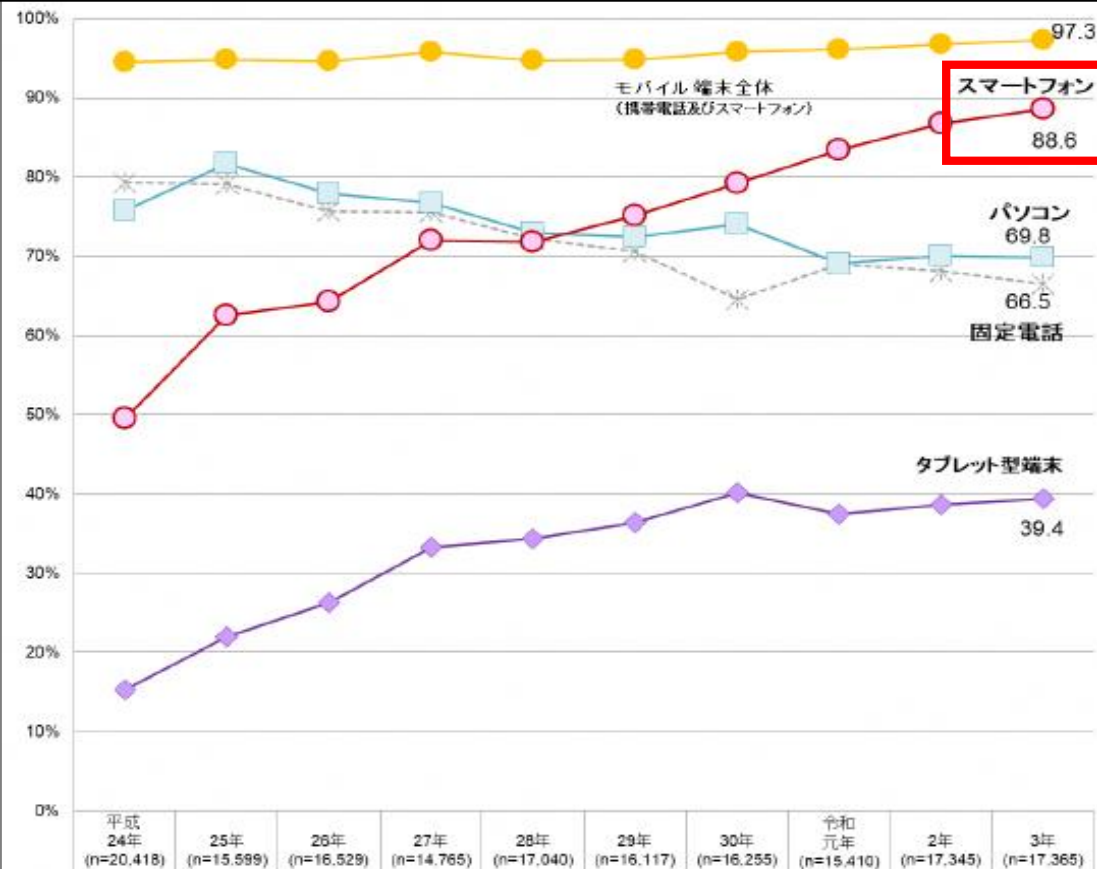
## 第2章 デジタル化の現状

---

## 全国の現状

■スマートフォンの世帯保有率は8割を超えている。

主な情報通信機器の保有状況(世帯)  
(平成24年~令和3年)

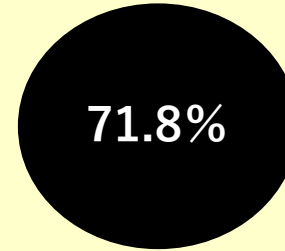


出典：総務省「令和3年版 通信利用動向調査」

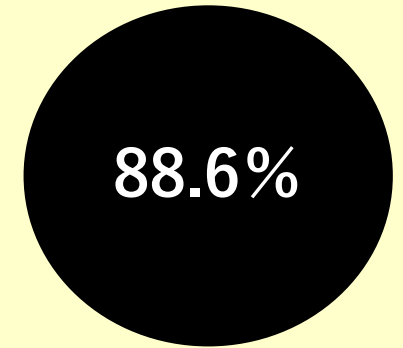
### スマートフォンの保有状況(全体)

平成28年  
(2016年)

[第4次情報化計画策定時]



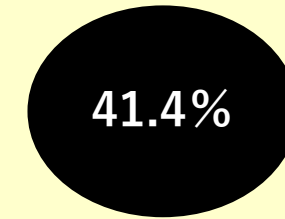
令和3度  
(2021年)



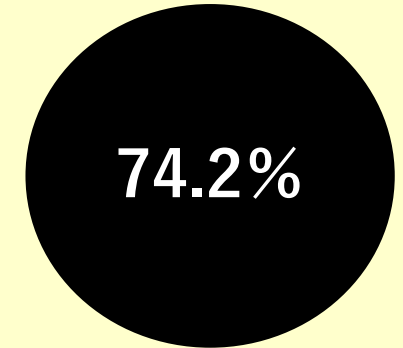
### スマートフォンの保有状況(65歳以上)

平成28年  
(2016年)

[第4次情報化計画策定時]

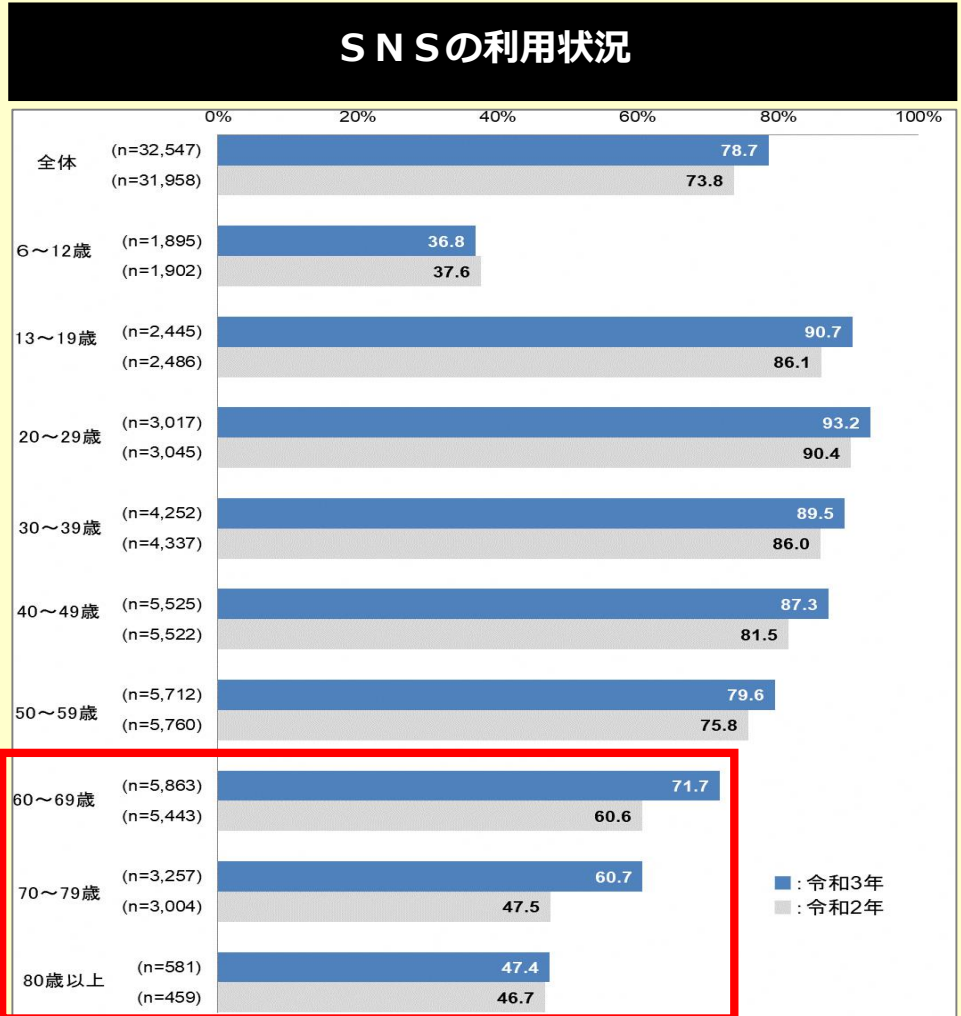


令和3度  
(2021年)



## 全国の現状

### ■ 高齢者（65歳以上）のSNS利用率が増加



平成28度  
(2016年)  
[第4次情報化計画策定時]

約10%

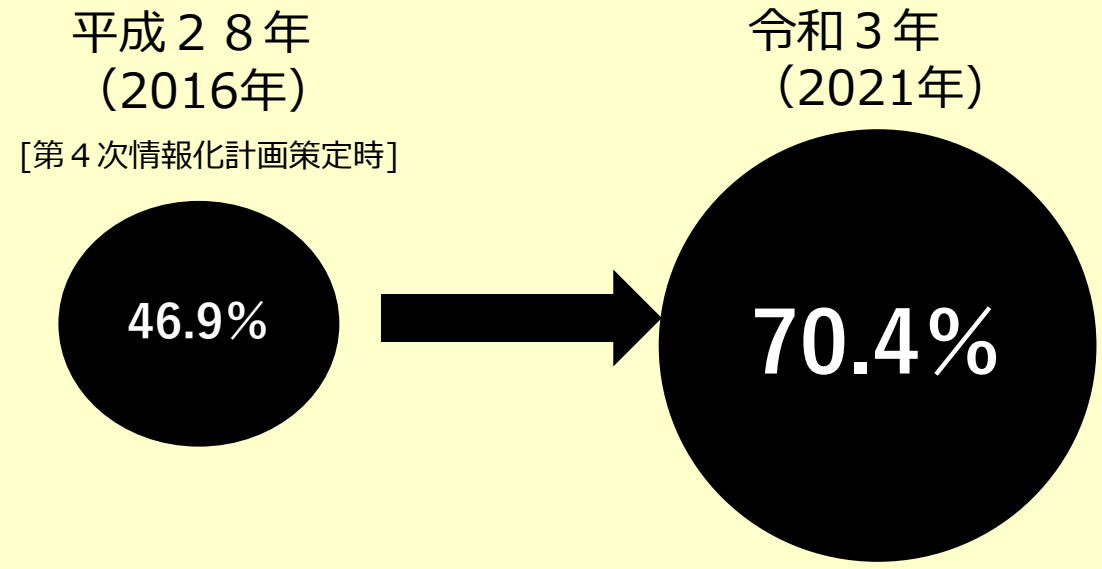
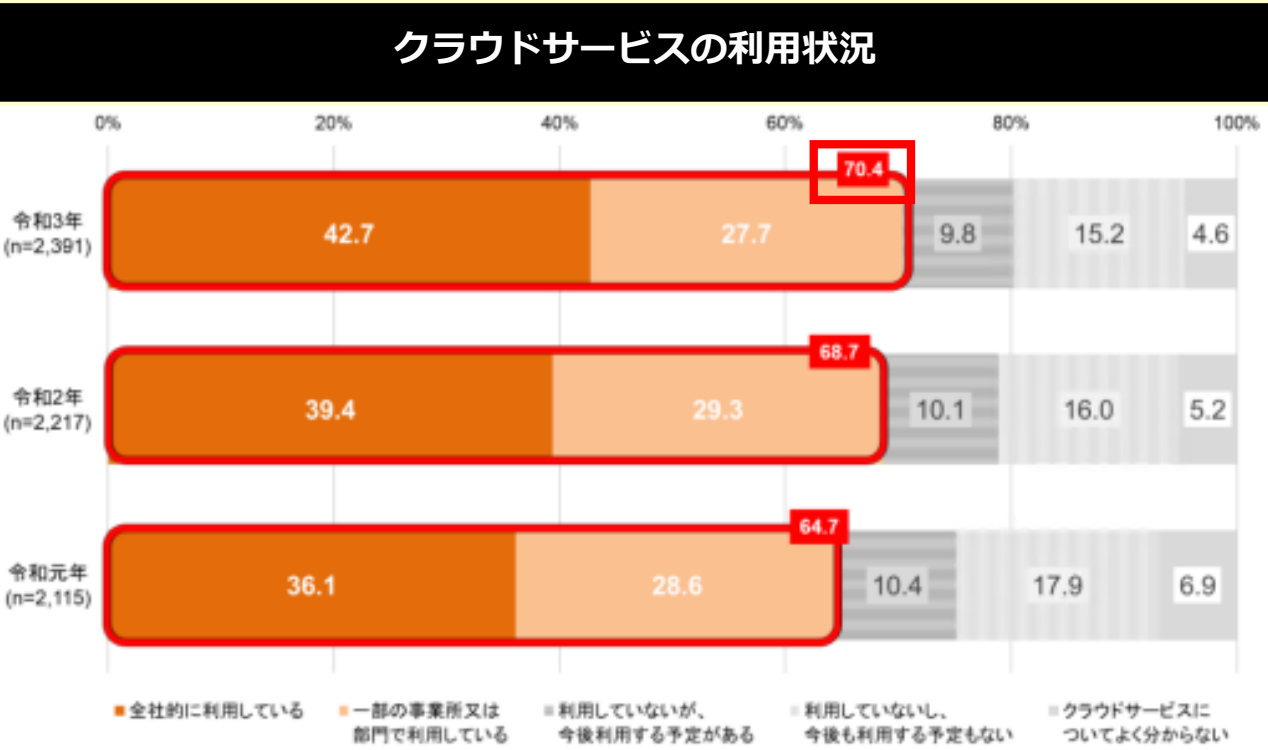


令和3年  
(2021年)  
54.2%

出典：総務省「令和3年版 通信利用動向調査」

## 全国の現状

### ■ 企業におけるクラウドサービスの利用が拡大



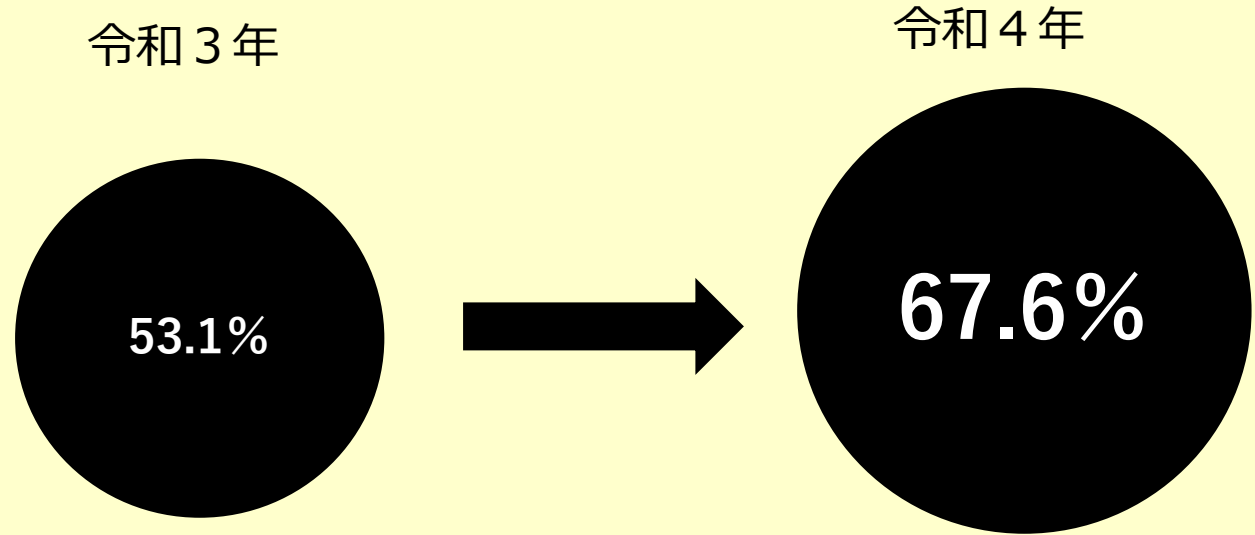
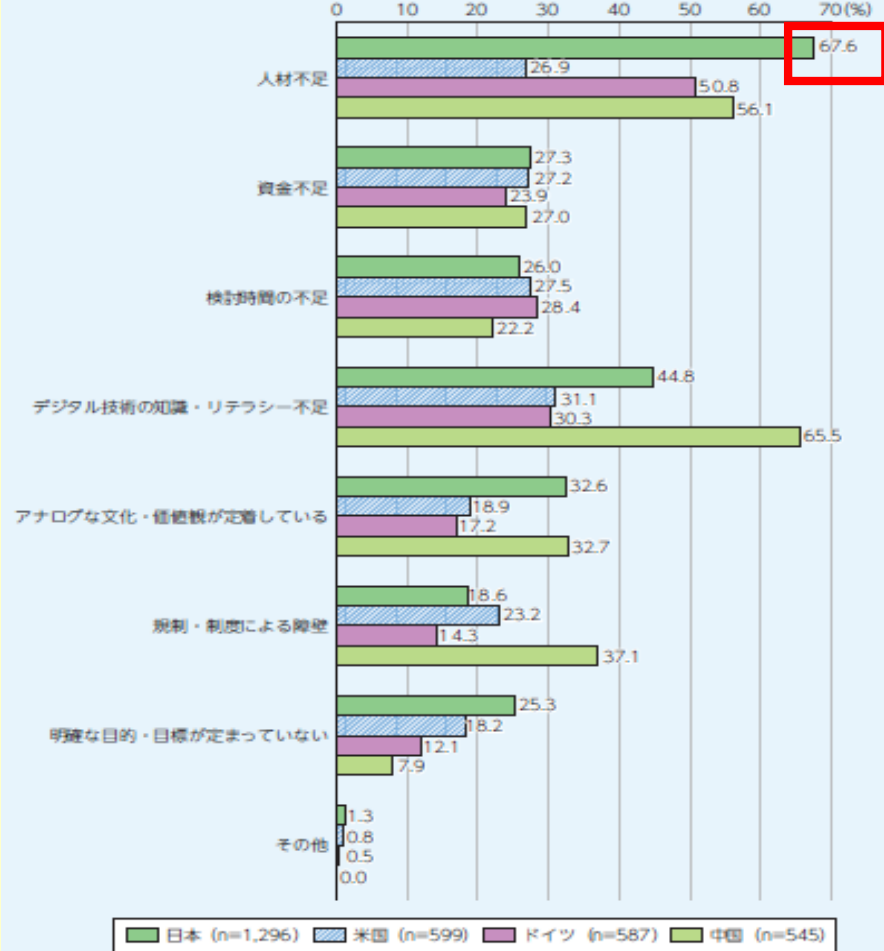
出典：総務省「令和3年版 通信利用動向調査」

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

## 全国の現状

### ■ デジタル人材の不足

#### デジタル・トランスフォーメーションを進める際の課題



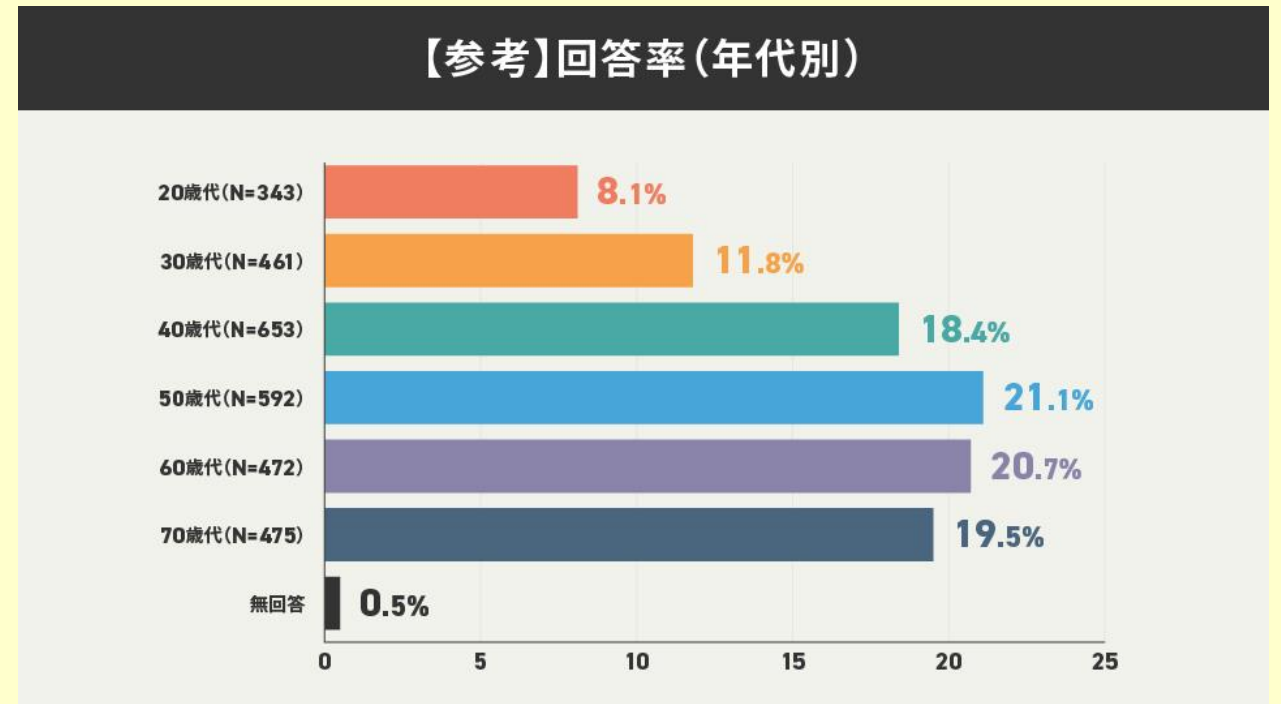
出典：総務省「令和4年版 情報通信白書」

## 本市におけるデジタル化の現状 (市民)

市民のデジタル化に関する意識やニーズ，デジタルの活用状況等を把握するため，意識調査を実施しました。

### 宇都宮市のデジタル化の推進に関する意識調査

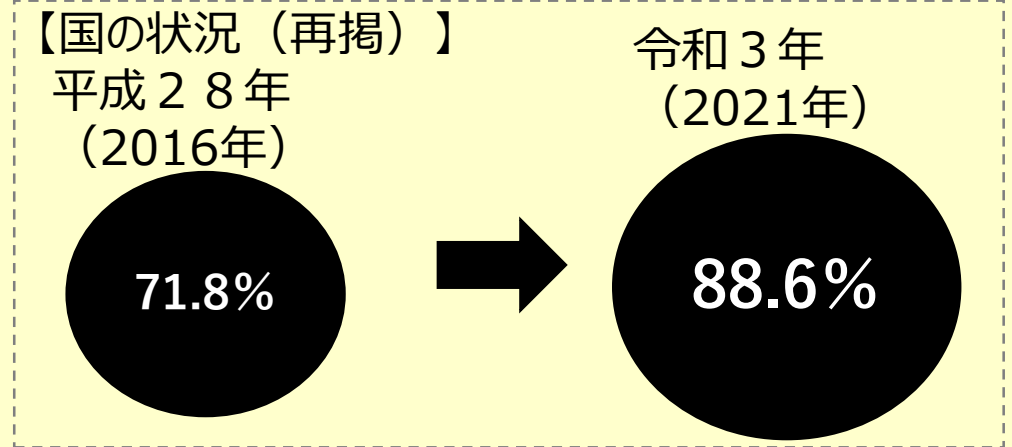
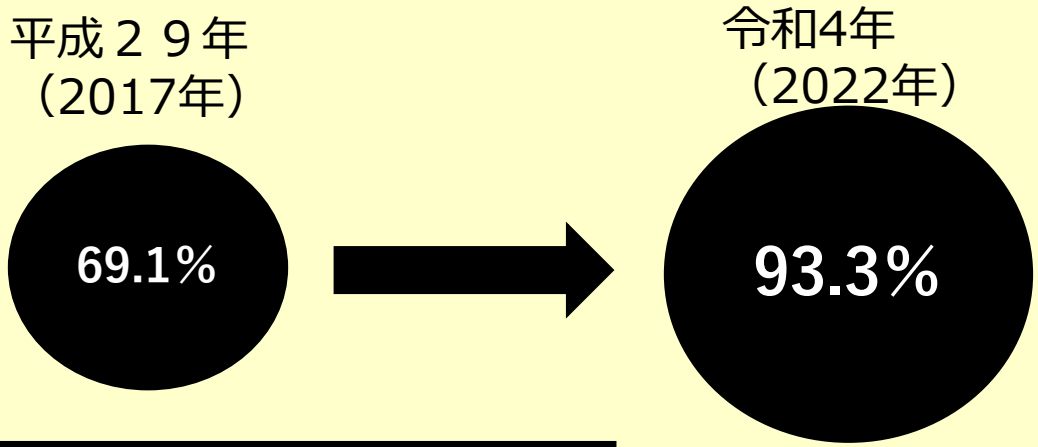
	内容
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳以上80歳未満の市民（約39万人）</li> <li>・住民基本台帳からの無作為抽出</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送・Webによる調査票の送付・回収</li> <li>・無記名記入方式</li> </ul>
回答者数	1,053人/3,000人（35.1%）
調査時期	令和4年（2022）年6月22日～7月8日



## 本市におけるデジタル化の現状 (市民)

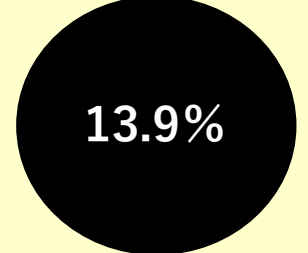
### 情報通信機器の保有状況

■ 市民のスマートフォンの世帯保有率が93.3%となり、前回調査時から広く普及している。

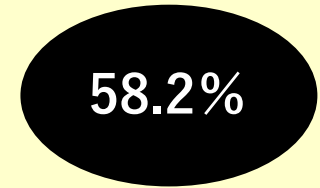


### インターネットの利用状況

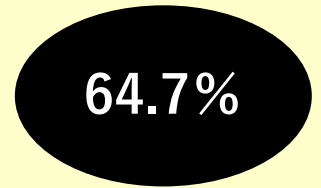
インターネットを利用していない割合



そのうち、70歳代が占める割合

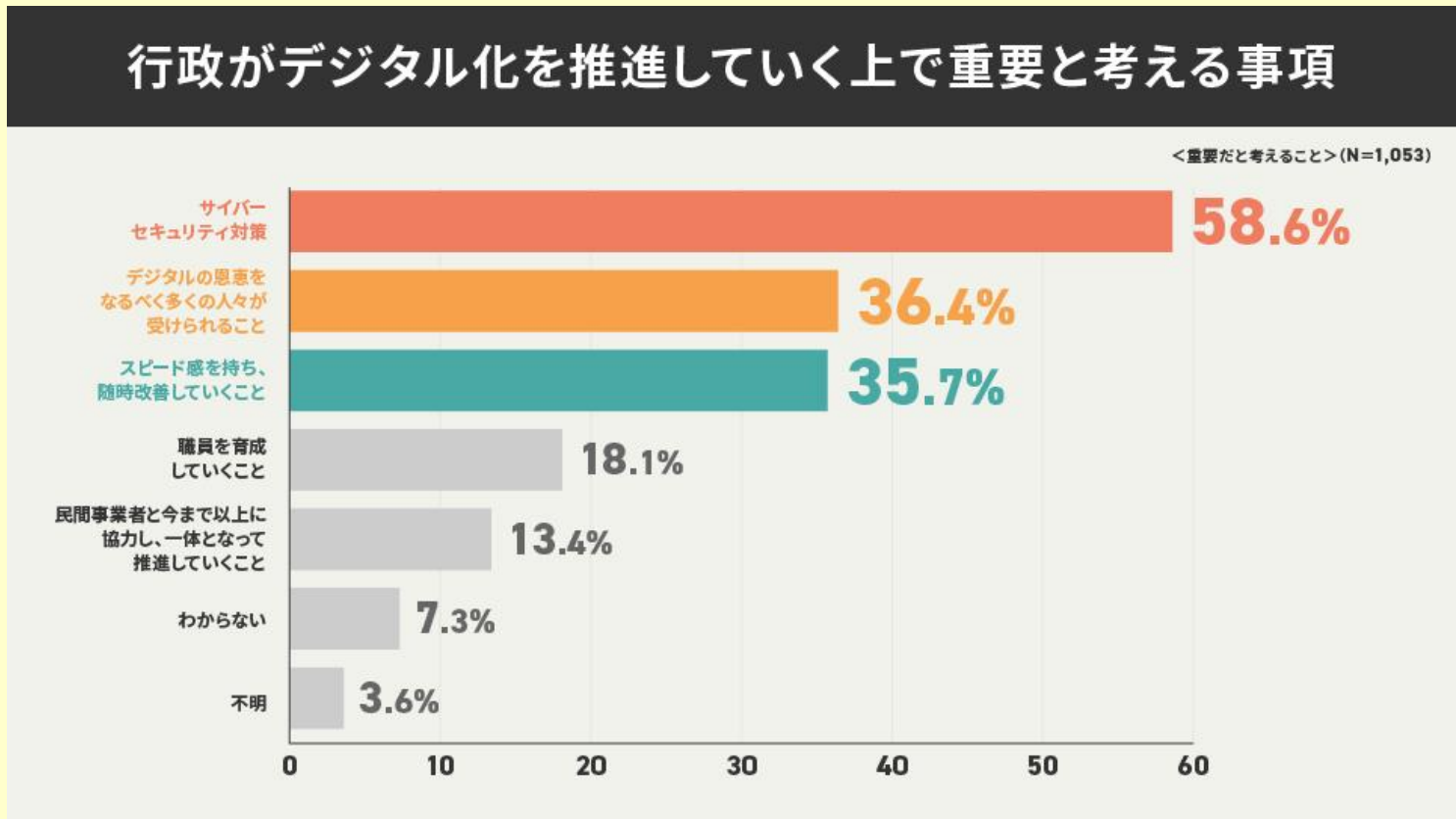


そのうち、インターネットを利用しない理由として「機器の操作方法がわからない」が最多



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

## 本市におけるデジタル化の現状 (市民)



セキュリティ対策の強化

58.6%

デジタル化の恩恵を多くの人々が受けられること

36.4%

柔軟・迅速に取組を進めていくこと

35.7%



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

## 本市におけるデジタル化の現状 (市民)

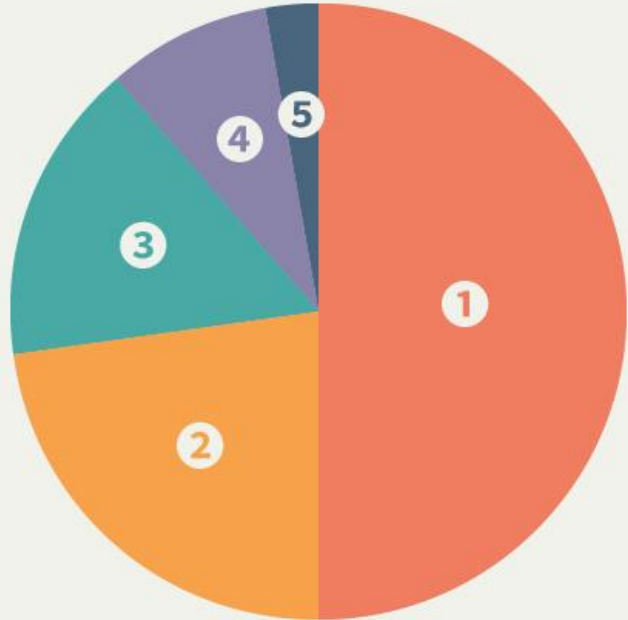
### 行政による個人情報の活用

<個人情報の活用> (N=1,053)

④ わからない 8.7%

⑤ 不明 2.6%

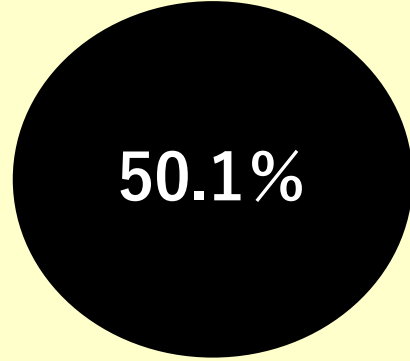
③ より良いサービスが展開されるのであれば、個人情報は積極的に活用してほしい 15.7%



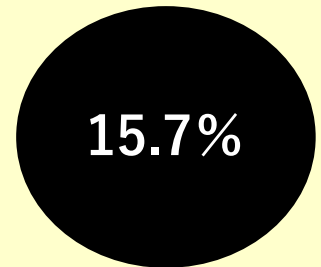
① 目的ごとに可否を選択できるようにしてほしい 50.1%

② 個人情報はなるべく活用せずにサービスを展開してほしい 22.9%

目的ごとに可否を選択できるようにしてほしい



より良いサービスが展開されるのであれば積極的に活用してほしい



約7割が利用ルールに基づき、データを活用したサービス展開を期待

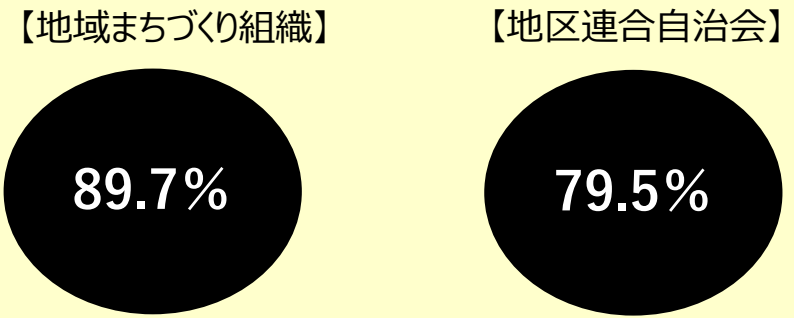


# 第2章 デジタル化の現状

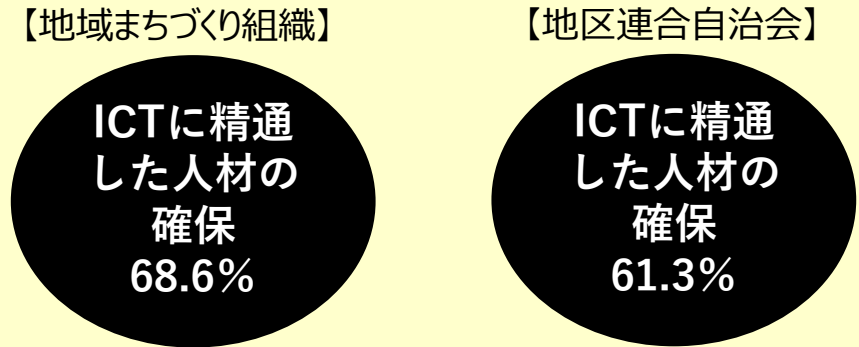
序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の 動向	2章 デジタル化の 現状	3章 デジタル活用 に係る主要な課題
4章 デジタル活用の 基本理念	5章 デジタル活用の 方向性(柱)	6章 デジタル活用の 基本方針	7章 デジタル活用の 推進に向けて

## 本市におけるデジタル化の現状 (地域活動団体)

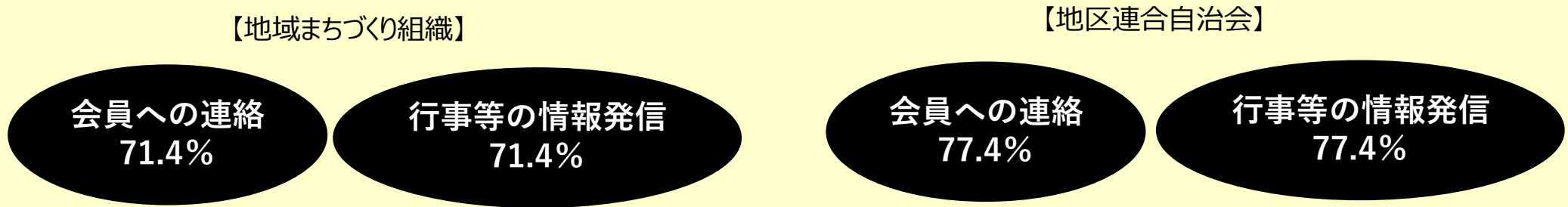
### 地域活動にデジタルを活用したい意向の有無



### ICTを活用するに当たっての課題

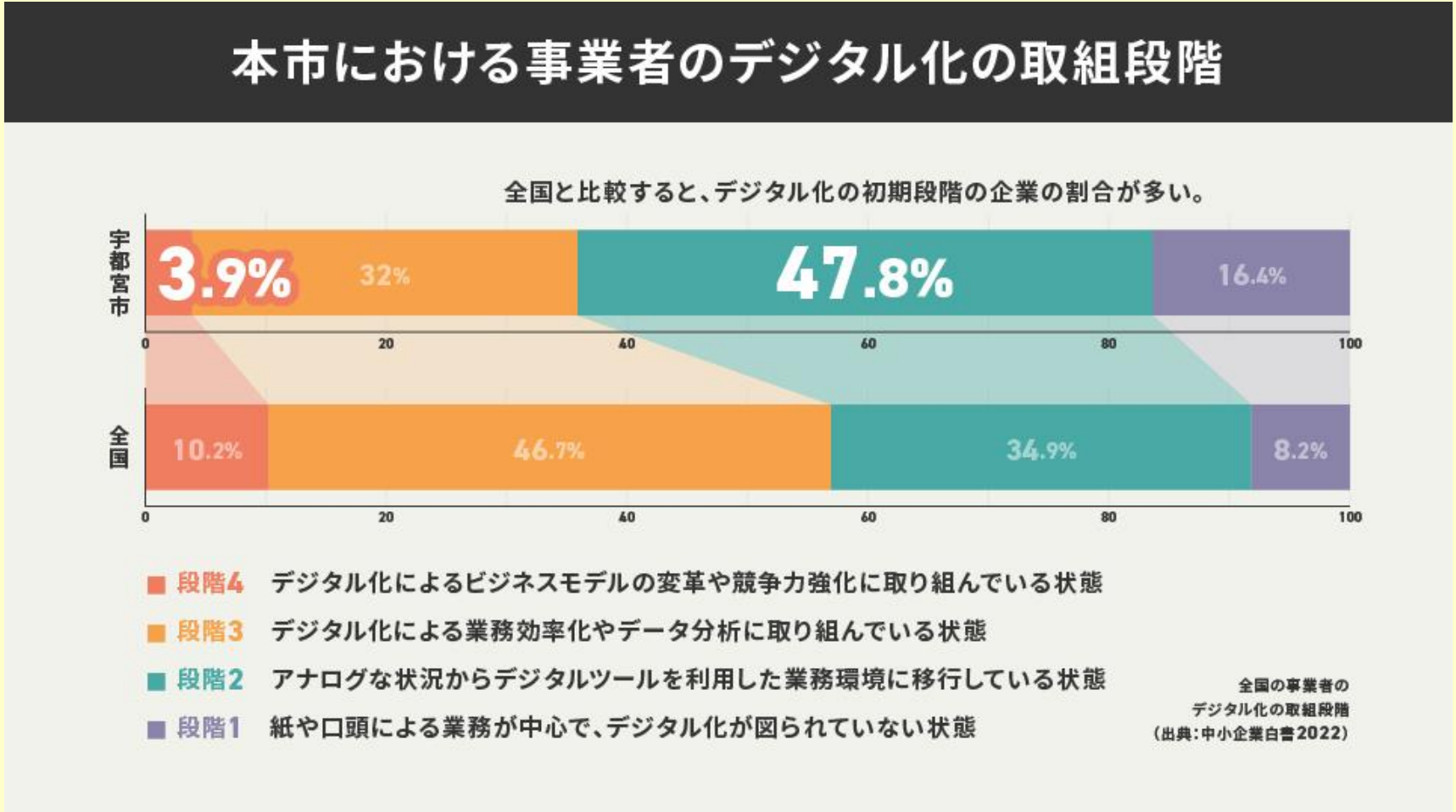


### ICTを活用したい活動内容



※令和4年4月～5月に実施した「市民協働に関するアンケート」(地域まちづくり組織39団体, 地区連合自治会39団体, 回答39団体) 結果から抜粋

## 本市におけるデジタル化の現状 (事業者)

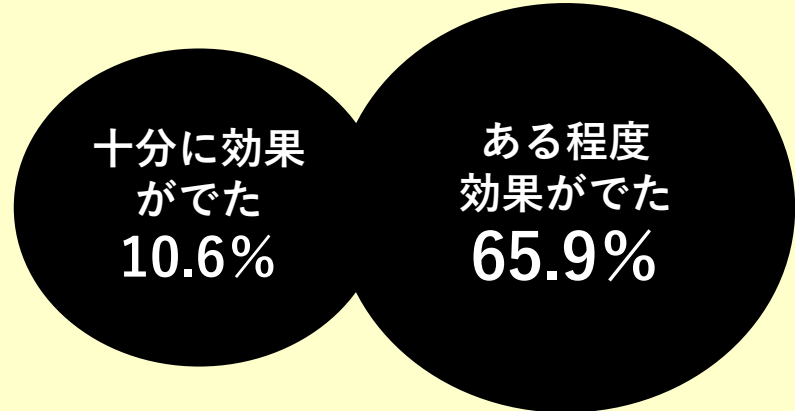
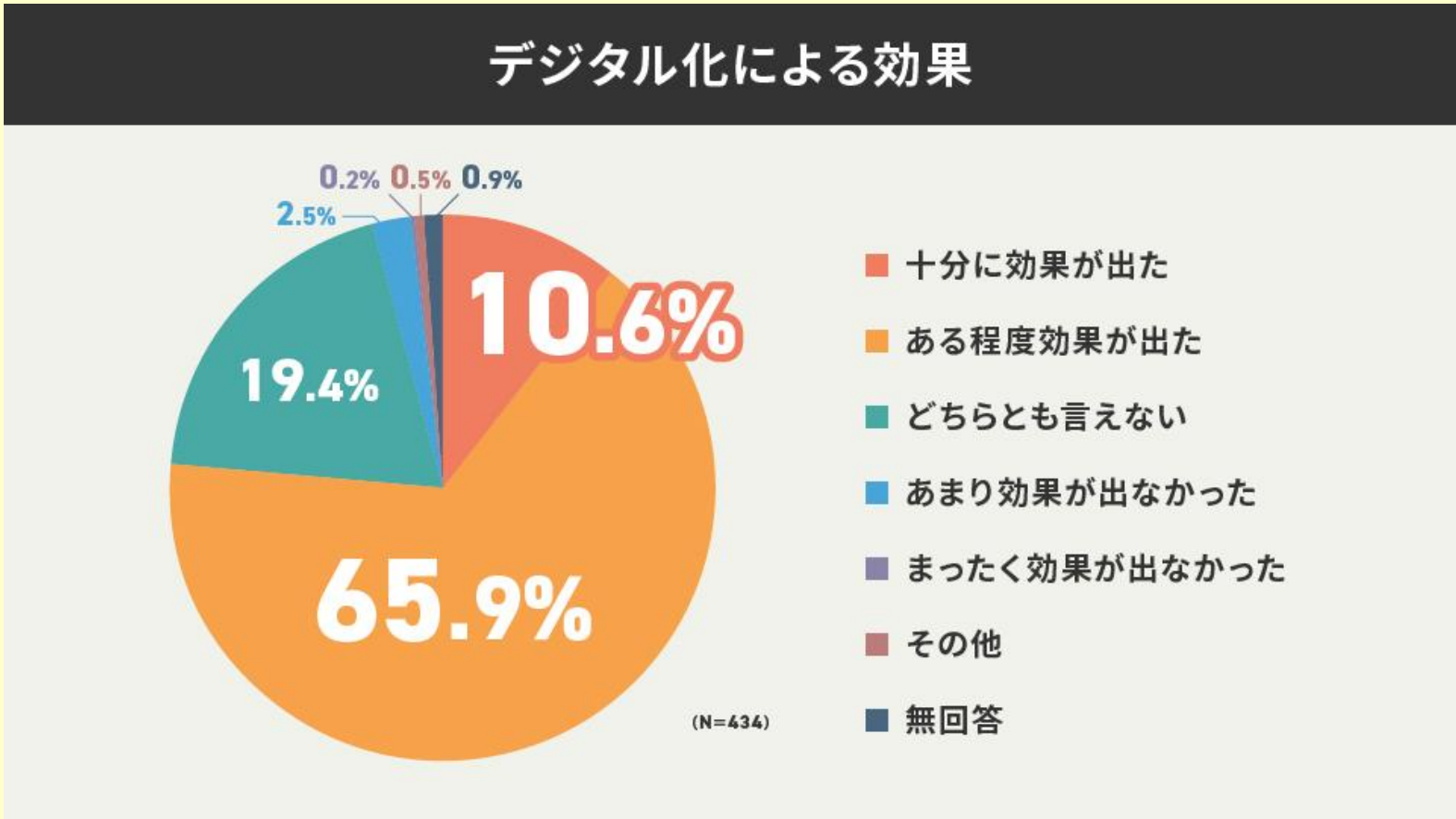


全国と比較すると、デジタル化の初期段階の企業の割合が多い。

※令和4年6月～7月に実施した「宇都宮市中小企業実態調査」(実施1,500社, 回答602社)から抜粋

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

## 本市におけるデジタル化の現状 (事業者)



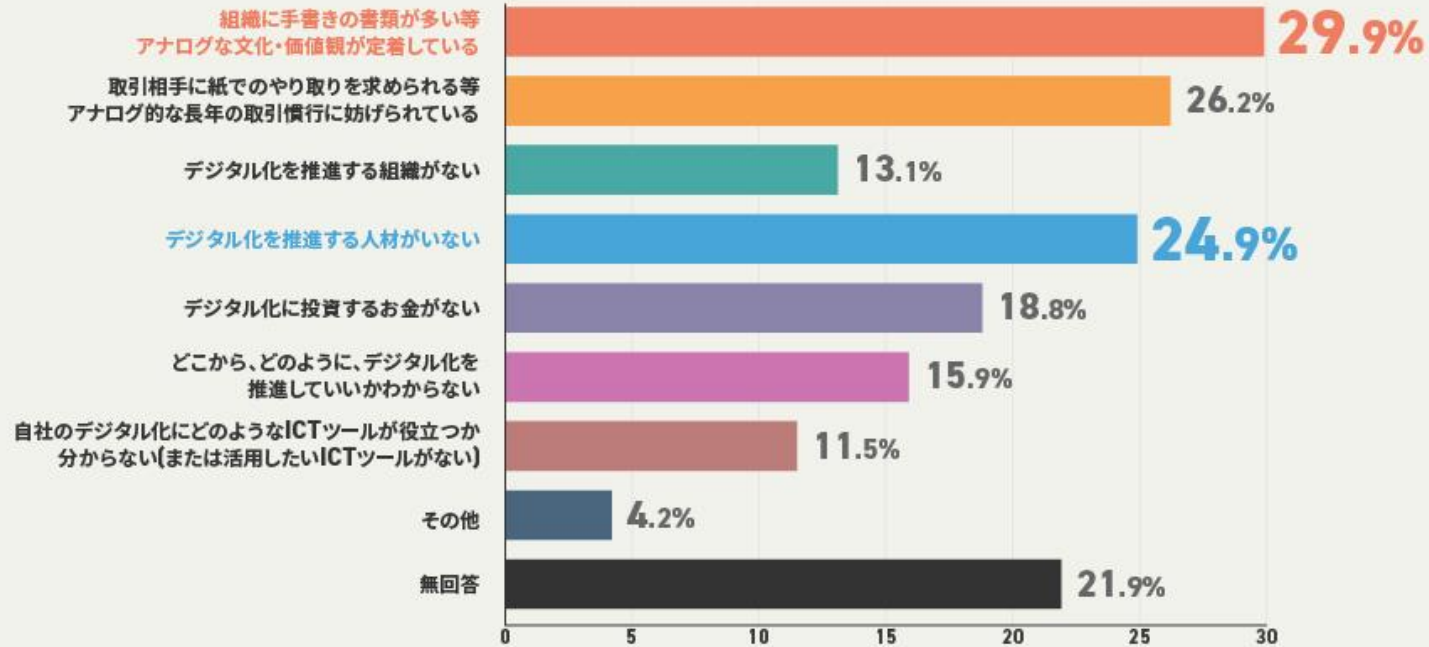
約8割がデジタル化の効果を実感している。

※令和4年6月～7月に実施した「宇都宮市中小企業実態調査」(実施1,500社, 回答602社)から抜粋

## 本市におけるデジタル化の現状 (事業者)

### デジタル化推進に当たっての課題

R.04 調査 n=602



アナログな文化・価値観が定着している。  
29.9%

デジタル化を推進する人材がない  
24.9%

※令和4年6月～7月に実施した「宇都宮市中小企業実態調査」(実施1,500社, 回答602社) から抜粋



# 第2章 デジタル化の現状

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

## デジタル化の現状を踏まえた課題の総括

### 市民

- 本市におけるスマートフォンの保有割合は全体で9割を超えており、市民があらゆる場面でデジタルサービスを利用できる環境が整いつつあると考えられます。
- 進展の早いデジタル化をより一層を推進していくには、セキュリティ対策等に配慮しつつも、アジャイル手法を用いながら、より良いサービス提供に向け、データ等を効果的に活用していく必要があります。
- 一方で、高齢者などは、「機器の操作方法がわからない」などの理由により、デジタル機器等を活用できていない状況があることから、より多くの人々がデジタルの恩恵を受けられるように取り組んでいく必要があります。

### 地域活動団体

- デジタルを活用し、今の時代に求められる団体運営や活動内容へ転換できるよう、地域活動団体における担い手の確保や役員の負担軽減などの課題解決に取り組んでいく必要があります。

### 事業者

- デジタル化に取り組んでいる中小企業においては、約8割が効果を実感できている状況があることから、事業・経営の継続・発展に向け、デジタルを効果的に活用していく必要があります。
- また、デジタル化を推進していくに当たっては、これまでの意識を変革し、社内でデジタル活用を実装できるデジタル人材の育成に取り組んでいく必要があります。